

氏名 <small>(法人にあっては名称)</small>	広島市
住所	広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
計画期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
基準年度(*1)	令和3年度

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上 (特定事業者) <input checked="" type="checkbox"/> (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (3)特定事業者以外の事業者
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 事業の概要

事業者の業種	市町村機関 (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：9821)
事業概要	住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する。

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下限は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4～令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4～令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*5)	236,523 t-CO ₂	224,841 t-CO ₂	218,972 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		4.9 %	7.4 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*6)		224,841 t-CO ₂	218,972 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		4.9 %	7.4 %	%	%	%
実績に対する自己評価	ごみ焼却量等が減少したことにより、温室効果ガス排出量も減少した。					

- *1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制割合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。
- *2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。
- *3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。
- *4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。
- *5 温室効果ガス実排出量とは、上記(*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。
- *6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標の達成状況 (※任意記載)

(※原単位の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$)

事業分類	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
市町村機関	0.0110	0.0084	0.0118			
		23.6 %	-7.3 %	%	%	%
下水道処理施設維持管理業	0.3568	0.3597	0.3311			
		-0.8 %	7.2 %	%	%	%
ごみ処分量	0.3319	0.3360	0.2898			
		-1.2 %	12.7 %	%	%	%
原単位の指標及び実績に対する自己評価	市町村機関：新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の緩和に伴い、電気使用量等が増加したため、温室効果ガス排出量が増加した。 下水道処理施設維持管理業：下水処理量の減少により、温室効果ガス排出量が減少した。 ごみ処分量：ごみ焼却量等の減少により、温室効果ガス排出量が減少した。					

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

「広島市地球温暖化対策実行計画」に基づき、エネルギー使用量の削減の取り組みを行った。
 (例) 蛍光灯のLED照明への更新、公用車における次世代自動車の導入等

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値(*8)の活用等)

特になし。

4 その他の取組の実施状況

本市独自の環境マネジメントシステムの運用により、市の事務事業に伴う電気使用量やごみの削減等の環境負荷の軽減を目的とした、課単位及び職員一人ひとりによる取り組みを実施した。

*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。
 *8 環境価値とは、ワットクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市環境局中工場
事業所の所在地	広島市中区南吉島一丁目5番1号
事業所の業種	ごみ処分業
事業の概要	固形状一般廃棄物の焼却処分

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	78,026 t-CO ₂	63,693 t-CO ₂	50,669 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		18.4 %	35.1 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		63,693 t-CO ₂	50,669 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		18.4 %	35.1 %	%	%	%
実績に対する自己評価	一般廃棄物中のプラスチックの割合を令和3年度と同等にすることで、温室効果ガスの排出量を減少させる。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

ごみの分別の推進（搬入指導など）により、プラスチックの焼却量を減少させる。

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

特段無

2 その他の取組の実施状況

環境教育の一環として見学者を受け入れ、ごみの分別やリサイクル、減量化についての環境教育を行う。 (参考：令和4年度見学者11,029人)

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市環境局南工場
事業所の所在地	広島市南区東雲三丁目17番1号
事業所の業種	ごみ処分業
事業の概要	固形状一般廃棄物の焼却処分

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	18,294 t-CO ₂	18,111 t-CO ₂	13,396 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	26.8 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		18,111 t-CO ₂	13,396 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	26.8 %	%	%	%
実績に対する自己評価	・施設の建替工事のため、令和4年11月に焼却停止したことにより温室効果ガス排出量が減少した。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

不使用室の空調停止及びトイレ・倉庫等の不使用時における換気停止の徹底を実施した。

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値の活用等)

特になし。

2 その他の取組の実施状況

工場見学者に対して、ごみの分別や減量化等について環境教育を行った。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市環境局安佐南工場
事業所の所在地	広島市安佐南区伴北四丁目3990番地
事業所の業種	ごみ処分業
事業の概要	固形状一般廃棄物の焼却処分

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	29,884 t-CO ₂	40,886 t-CO ₂	39,060 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		-36.8 %	-30.7 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		40,866 t-CO ₂	39,060 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		-36.7 %	-30.7 %	%	%	%
実績に対する自己評価	火災から施設が復旧し、焼却量が増加した。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<p>ごみの分別の促進（搬入指導など）により、廃プラスチック類の焼却量を減少できた。</p>

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

<p>特になし。</p>

2 その他の取組の実施状況

<p>環境教育の一環として見学者を受け入れ、ごみの分別や減量化について環境教育を行った。 (参考：令和4年度見学1,609人)</p>

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市環境局安佐北工場
事業所の所在地	広島市安佐北区可部町大字中島1460番地の1
事業所の業種	ごみ処分業
事業の概要	固形状一般廃棄物の焼却処分

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	39 t-CO ₂	5,164 t-CO ₂	3,845 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		-13141.0 %	-9759.0 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		5,164 t-CO ₂	3,845 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		-13141.0 %	-9759.0 %	%	%	%
実績に対する自己評価	再稼働に伴い、温室効果ガス排出量が増加したが、目標は達成することができた。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

ごみの分別や減量化の促進によってごみ焼却量を減少させるなど、温室効果ガス排出量の抑制に努めた。

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値の活用等)

特になし

2 その他の取組の実施状況

特になし

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市下水道局管理部西部水資源再生センター
事業所の所在地	広島市西区扇一丁目1番1号
事業所の業種	下水道処理施設維持管理業
事業の概要	下水処理

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	23,689 t-CO ₂	24,061 t-CO ₂	23,746 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		-1.6 %	-0.2 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		24,061 t-CO ₂	23,746 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		-1.6 %	-0.2 %	%	%	%
実績に対する自己評価	令和4年度は、流入水に含まれる固形物量の増加に伴い送風機の運転台数変更(2)(1)及び(6)があまりできず、電力使用量が増えたため、温室効果ガス排出量も増加した。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<p>〈温室効果ガス実排出量の大部分を占める買電電力量を削減するための措置〉</p> <p>①西系送風機運転台数変更 ②硝化液循環ポンプ運転台数の削減 ③4系、5系、6系エアレーションタンク攪拌機運転台数の削減 ④遠心濃縮機運転台数の削減 ⑤返流水設備第1、第2無酸素槽の攪拌機運転台数削減 ⑥東系送風機運転台数変更</p>

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値の活用等)

--

2 その他の取組の実施状況

--

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市下水道局千田水資源再生センター
事業所の所在地	広島市中区南千田西町1番3号
事業所の業種	下水道局処理施設維持管理業
事業の概要	下水処理

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	5,831 t-CO ₂	5,831 t-CO ₂	5,809 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		0.0 %	0.4 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		5,831 t-CO ₂	5,809 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		0.0 %	0.4 %	%	%	%
実績に対する自己評価	前年度同様の設備稼働状況、高級処理水量に伴い排出量もほぼ横ばいとなった。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 空調の設定温度を変更した。 不要な照明を消灯した。

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値の活用等)

<ul style="list-style-type: none"> 特になし。

2 その他の取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 特になし。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市中央卸売市場食肉市場
事業所の所在地	広島市西区草津港一丁目11番1号
事業所の業種	と畜場
事業の概要	市場及び併設と畜場の管理運営

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	3,214 t-CO ₂	3,150 t-CO ₂	3,325 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		2.0 %	-3.5 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		3,150 t-CO ₂	3,325 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		2.0 %	-3.5 %	%	%	%
実績に対する自己評価	灯油及び電気については、毎年度ほぼ同量必要で、前年より若干増加してしまった。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<p>焼却炉の運転休止の継続と、ボイラー設備の効率的な運転に努めている。</p>

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値の活用等)

<p>特になし</p>

2 その他の取組の実施状況

<p>と畜作業の進行具合により、不要となる灯油及び電気を順次遮断し、合わせて照明も常に調整し、その他と畜作業以外においても、パソコン、プリンター、照明設備などの節電に努めている。</p>
